

北部6州の2014年予算

【詳細】

1. ペナン州

(1) 歳入、歳出ともに縮小

歳入予算は5億8775万リンギット（約176億円）、歳出予算は8億4319万リンギット（約252億円）で、歳入歳出共に縮小している。歳入が昨年比17%の減少となったのは主に土地価格が市場で変動したためである。歳出、特に開発予算が縮小したのは土地収用の減少と人を中心とするプロジェクトに焦点をあてたからである。収支は2億5544万リンギット（約76億円）の赤字を見込む。

州政府は2月1日から外国人や外国企業が不動産を購入した際に3%の税金を課す。さらに不動産開発業者と、購入後3年以内の転売に対して2%課税することについて交渉している。

(2) 開発にあたっての3つの重点項目

開発にあたって3つの重点項目に引き続き焦点をあてていく。①州経済成長の加速、②就業機会の創出、③社会経済的な平等性の確保である。具体的には、インフラ改善、洪水対策、公共交通（主にバス）の改善、社会福祉事業、教育事業、持ち家制度の推進等を実施する予定である。

(3) ビジネス・プロセス・アウトソーシングと観光事業の強化

BPO（Business Processing Outsourcing、業務プロセスの一部外部委託）のハブをめざし、空港周辺等に新たに土地を確保。すでにエア・アジア、CitigroupのBPOの誘致に成功している。

ペナン州はマレーシア全体の医療観光市場の60%を占めており、今後の私立病院のさらなるサービス向上に期待。他方で州政府もペナンヒルでエコツーリズム・プロジェクトやケーブル鉄道博物館の設置などを計画し、新しい観光資源の開発を推進する。

(4) 新たな開発地域、バトゥ・カワン

まもなく開通するペナン第二大橋の半島側たもとに位置するバトゥ・カワンを新たな開発地域として重視。昨年はペナン開発公社（PDC）が105.87エーカーの土地を50社に売却した。このうち46社は国内企業、4社が外国企業であった。

2. ケダ州

(1) 連邦政府からの強力な支援を得て黒字転換

歳入予算は7億3140万リンギット（約219億円）、歳出予算は7億9635万リンギット（約240億円）、ただし収支は連邦政府からの強力な支

援により270万リングットの黒字を見込んでいる。開発予算は2億3562万リングット（約71億円）を当てており、インフラ開発、教育、観光、スポーツ・宗教・社会開発、農業、通信分野に活用される。予算の重点項目は、①インフラ、②人材・社会・宗教の発展、③人々の繁栄、④経済成長刺激、⑤州政府の統治強化である。

(2) 農業振興

農地の灌漑用水路改善のため、連邦政府予算から22億リングット（約660億円）の予算をうけ、MADA(Muda 農業開発庁)が実施する形で農地からの収穫率の向上を図る。

(3) 投資先としての魅力の向上

既存の工業団地（クリム・ハイテクパーク）が引き続き投資先として魅力をもつように努力するとともに、コタ・ペルダナ・インダストリーハブ、コタ・プトラ・ラバーシティを将来の州経済を支える収益源となるよう開発する。

3. ペルリス州

(1) 赤字見込みが昨年比微増

歳入予算は8277万リングット（約24億円）、歳出予算は1億8884万リングット（約57億円）で赤字見込みは昨年比微増の1億607万リングット（約32億円）を見込んでいる。歳入自体は増加を見込んでいるが、歳出がそれ以上に膨らむ見込み。

(2) 2015年に先進州入りを目指す

2014年予算のテーマは、「2015年までにペルリス州が先進州入りすることに向けた経済の繁栄と人々の幸福」。3つの重点項目、①経済活動の強化、②農業振興、③人々の幸福の確保を設定している。2013年9月の段階で先進州入りに必要となるOECDの設定する基準53項目の内42項目を満たしている。

(3) ペルリス・インベストの設立

投資誘致の促進のため、新たにペルリス・インベストを設立し、ワンストップ・サービスを提供する。タイとの国境地域を対象とした、国の推進する開発プロジェクトを通じて投資の機会を創出する。

2016年までにマレーシア国内で初のハイスピード・インターネット・アクセスを有する州となることを目指し、4920万リングット（15億円）の第一期プロジェクトを実施中である。また、近代的な養鶏場設立プロジェクトを2億7000万リングット（約81億円）かけて実施予定。

4. ペラ州

(1) 赤字予算は組むも黒字化の可能性あり

歳入予算は9億7014万リングット（約291億円）、歳出予算は10億1260万リングット（約304億円）。歳出予算のうち3億3898万リングット（約102億円）が開発予算として充てられており、前年比5.2%の増加である。2009年から毎年赤字予算を組んでいるが決算が終わっていない2013年をのぞき毎年黒字で決算を迎えている。

(2) 予算のテーマは、「平和で成功した州、幸福な人々」

5つの重点項目を設定しており、①生活の質の向上のための経済開発、②競争力のある人材育成、③人々の繁栄のための共同体への関与、④責任ある革新的な行政の強化、⑤インフラ設備の改善である。

具体的には、アニメーション・テーマパーク、ウォータ・パーク、住宅の開発、国際会議、国際スポーツ・イベントの誘致、マインドマップ作成プログラム支援などをあげている。

(3) 北部経済回廊実行庁（NCIA）によるプロジェクトが進行中

NCIA が4つ星ホテルのノボテル・ホテルの誘致に成功し、他にも4軒の新しいホテルが2016年までに建設される。また、えびの養殖・加工場の誘致、農業地の増加についても民間のプロジェクトが進行中である。

5. クラントン州

(1) 昨年の黒字見込みから一転、赤字見込み

歳入予算は5億4926万リングット（約165億円）、歳出予算は5億5964万リングット（約168億円）で、昨年の黒字から一転して1039万リングット（約3億円）の赤字を見込んでいる。2014年は大型の土地割り当てが予定されていないことを主因とする歳入の減少と歳出の増加が赤字の要因である。開発予算は2億1138万リングット（約63億円）を割り当てている。

(2) 資源に頼る歳入

歳入の内訳は、石油ロイヤルティーが36%、土地収入が19.2%、林業が12%、鉱業が5%で、資源に大きく頼っている。

(3) 予算編成のテーマは「人々の幸福と州の繁栄」

州政府は以下の5項目を重点分野としている。①経済発展の促進、②イスラムに則った人材開発、③社会的弱者の保護、④組織と執行能力の強化。

各項目の予算支出の内、興味深い支出としては、蜂蜜農家、薬草、有機栽培農場の支援、鉱物資源への投資誘致のための中国、中近東へのミッション派遣等である。

6. トレンガヌ州

(1) 均衡予算に高い割合を占める開発予算

歳入予算及び歳出予算はともに22億リングット(約660億円)を見込み均衡予算を組んでいる。歳出の内54%を開発予算に充てており、他州が歳出の25%程度を開発予算に充てていることに比べると割合が高い。歳入資金の内約90%が連邦政府からの資金、10%が州独自の資金である。

(2) テーマは「人々を第一にした政府と開発計画：人々の繁栄のための予算」

4つの主要戦略は、①赤字の削減、②人材の質の向上、③人々の繁栄の保証、④州の競争力の向上である。具体的には、コーラン・スマート・プログラムを通じてコーランの読了を推進、サイバークラスの増設、eブックプログラムの継続、二期作や養蜂農業の推進、排水施設整備などである。

(3) 鉄鋼分野の開発

鉄鋼分野ではすでに承認された韓国資本が参加した66億リングット(約1980億円)の投資に加え、今後中国資本の160億リングット(約4800億円)規模の投資を期待している。

また州政府はバイオテクノロジー・プロジェクトにも関心を有しており、早い段階でプロジェクトのスタートを図る。

(了)